

ビルピット・グリストラップ衛生管理剤

グリストラップを瞬間消臭！

硫化水素
瞬間消臭

油脂膜分解
酵素配合

排水管
詰まり予防

グリスト

アタック

Greast Attack



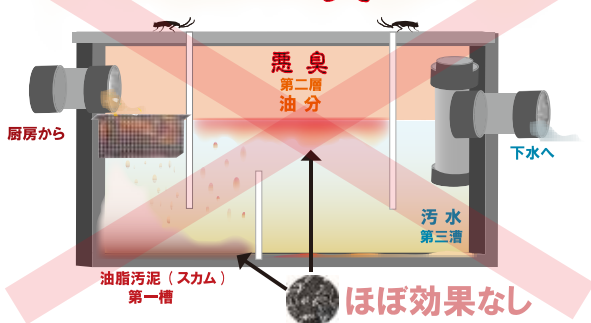
CALFA CHEMICAL CO., LTD.

これまでの「衛生管理業界」からのソリューション（解決策）提案

これまでグリストラップの問題に対して衛生管理業界は何も解決策はなかったのでしょうか？

いいえ。いろいろと販売されていて、あらゆる方法で行っています。行政・協会側からすると「違法性」がありそうです・・・

悪臭



■「微生物が生分解させる製品」

微生物が生分解する速度よりも「油」「汚水」の排出量の方がはるかに速いので「微生物製品」は、ほとんど効果を感じられません。

■「石けん成分に変える」と言われている製品

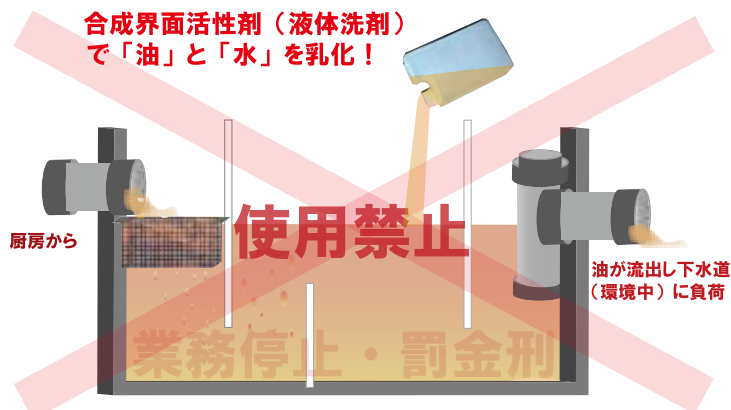
「石けん成分」に変えると言う製品が販売されています。何となく環境に優しいイメージですが、実は「石けん成分に変えて」はダメなのです。だから油が固まり「配管が詰まる」のです。

下水道管を詰ませたら「洗浄及び回復に要する全ての代金」が課せられます

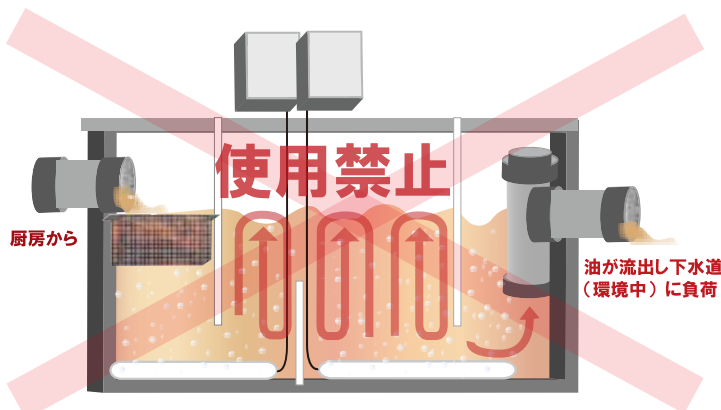
油を下水道に流してはいけません。仮に公共の下水道管を詰ませた場合、指定業者が洗浄・回復させますが発生した費用は全額「閉塞させた事業者」に請求されます。

■「合成界面活性剤」を大量添加

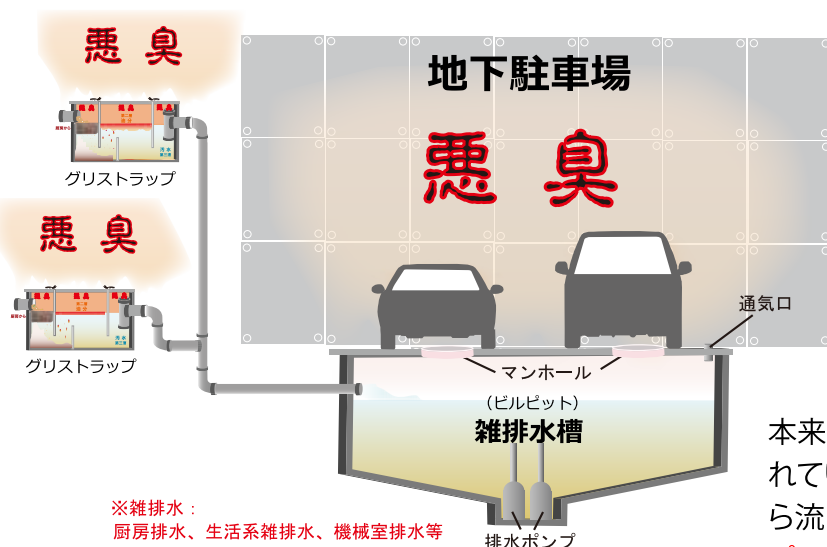
合成界面活性剤（液体洗剤）で「油」と「水」を乳化！



■「浄化機器・ばっ気装置」を設置



上記のどちらも「使用禁止」です。なぜならグリストラップ本来の役割・意味がなくなってしまうからです。事業者は「雑排水・油」は下水道に流れる前に「経路内から物理的に除去（清掃）」しなければなりません。



大型商業施設の場合

雑排水槽（ビルピット）が備わっている大型商業施設ビルは、さらに深刻な事態につながる可能性が高い！

大型商業施設のレストラン街では「昼食」「夕食」の時間帯に集中して排水量が増えます。下水道があふれてしまうため、一旦、ビルピット（雑排水槽）にためて定量的にポンプで下水道に排水します。

本来はビルピット内の雑排水は「油・雑排水」がすでに除去されていなければなりません。しかし店舗側のグリストラップから流してしまうと、そのままビルピットが「巨大なグリストラップ」になり事態がより深刻になるだけです。

ほとんどのケースは地下駐車場近辺にビルピットがあるので「硫化水素」の悪臭が駐車場で充満し「ゴキブリ・ハエ・ねずみ等」の害虫がビル内部で増えて来ます。また大規模な配管閉塞が発生した場合、ビルの「オーナー・管理会社側」が排水管にファイバー・スコープで「配管が詰まった部分を調査・特定」して高圧洗浄代金を店舗側に請求する場合があります。

下水道に「油」・「汚泥（スカム）」を流すと「高濃度の硫化水素」が発生します!!

硫化水素の濃度が高いと「金属腐食」・「コンクリート損壊」を引き起こします。昨今では下水道が損壊して「道路陥没事故」や「下水道清掃作業員の人命」も奪われています。皆様の行い一つで悲惨な「硫化水素による事故」を予防出来るのです。

【大型商業施設ビル】 ビルピットにおける「硫化水素濃度水位」



「硫化水素」を発するのには主に「有機物腐敗汚泥(スカム)」です。 Great Attack (グリスト・アタック) はスカムと混ざると瞬間的に「硫化水素」を分解しますので、ほぼ無臭の固形物として物理的に清掃処理しやすくします。

「油」をグリストラップより先の「排水管・下水道管」に流してしまい、さらに洗剤等の「アルカリ成分」と反応すると、まず半練り状に「けん化(石鹸化)」して来ます。これが「硬化」してくると「配管・下水道管の詰まり」を引き起こします。

自店舗の 排水管が詰まった場合

開店前に大至急「高圧洗浄」



「排水」が一切出来なくなるので、まずは高圧洗浄業者を探すところからのスタートです。「費用」は、まず店舗が「何階なのか?」が大きく変わってくるポイントです。もちろん距離が長ければ長い程、高額となります。



問題は「費用」よりも「作業時間」です。お客様のご予約が入っていた場合、時間に間に合わなくなり予定していた「売上げ」が、逆に「配管洗浄代」を支払う事になるかも知れません。配管詰まりは「予告なく」やって来ます。しかも「何回でも」やって来ます。「油」はグリストラップの先に流さずに必ずグリストラップで留めて、定期的に清掃しましょう。

自店舗からつながる 下水道管が詰まった場合

「知らなかった」では済まされない・・

「下水道復旧費」延長 200m で 「250 万円」! 「原因者」に請求 !!

公共の下水道管を油で詰ませた場合、清掃には直径 20cm の場合で 1 m 当たり 1 万円以上かかります。さらに、「汚泥処理費」や「交通誘導員費」は、別途発生します。

下水道管を詰ませた原因者は「復旧を要した費用」を全て負担する事と法令で規定されており、これは毎年、至る所で発生しておりますので十分に気をつけたいところです。

また、下水道内は箇所によっては「致死量を超える高濃度の硫化水素ガス」が充満しますので、洗浄作業は、まさに「決死の作業」です。下水道管の損壊で道路が陥没し、車が落下し尊い命が失われた事故もありました。「洗浄作業員の方の生命」「店舗で働く店員の健康問題」。グリストラップ(油・汚泥)への「管理意識」は本当に重大な問題です。





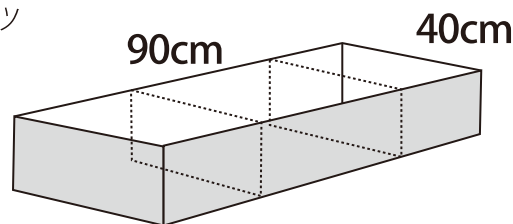
それでは「どうすればいいの?」・・・結局・・・「誰か」が清掃しなければならないのです

定期的にグリストラップのバキューム清掃業に依頼するのは必要です。それでもわずかに数日で悪臭がして来たりすぐに油の量がいっぱいになってしまう。そんな時こそ「グリスト・アタック」で応急処置しましょう。

まず、大体のグリストラップの「縦×横」(cm)の平面寸法を測って下さい。
目安として平方 (cm²) に対して **5%～10%** のグリスト・アタックをバケツに添加し、お湯で溶かして「洗浄液」を作り少しずつ投入します。

使用例 (目安) : 90cm×40cm = 3600 × 5% = 180g

付属スプーン 1 杯で約 50g ですので、この場合は約 4 杯 (200g) です。
(グリストラップの汚れ具合に応じて添加量を増やして下さい)



2時間後



グリストラップ内の状態が悪かったのでグリスト・アタック 5%ずつ計 3 回に分けて 15%の水溶液をバケツにお湯で投入

悪臭 (硫化水素) が消え、スカム・油は分解。スポンジ状に固化した泡が水面に浮遊。油こしのような器具ですくい取る

グリスト・アタックを毎日のメンテナンスとして使用 (排水溝・排水管・グリストラップの閉塞ケア)

まずはプロの「バキューム清掃」・「排水管の高圧洗浄」等で「過去の汚れを全てスッキリ」してから本製品でメンテナンスするのがオススメです。毎日の業務終了後、シンクから水溶液を流し、定期的にグリストラップの掃除をするだけ



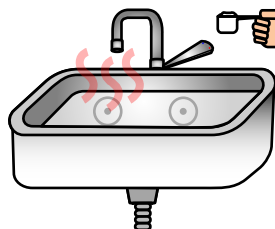
1 回キレイにしちゃえば! 【営業終了後】

「シンク内でお湯に溶かし流すだけ」



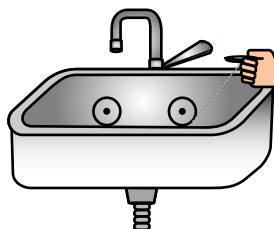
「排水溝」・「排水管」が詰まらなくなったら
それだけでも **価値↑**

シンク内にお湯で
「水溶液」を作る



毎日の業務終了後にシンクにお湯をためる

シンクの栓を抜いて
「水溶液」を流す



グリスト・アタックを適量溶かして
シンクの栓を抜いて流す

簡単清掃
無臭



最低でも 1 週間に 1 度はグリストラップを開けて浮遊物をすくい出す

※ 添加量とグリストラップの清掃頻度は「店舗」によって異なります。 ※ 流すシンクは同じ個所だけでなくローテーションして下さい。



【初めてパール缶を開ける時】



【グリストラップがエグかった件!】

